

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 坂本 偉健	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	北東アジア地域との交流		
目的	(1) 対象	県民、北東アジア地域住民	
	(2) 意図	北東アジア地域への関心を高め、相互理解と交流を拡大する。	
事業概要	北東アジア地域自治体の文化交流に寄与するため、北東アジア地域の伝統文化、芸能の公演・交流活動を行い、北東アジア地域の相互交流とネットワークづくりを推進する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	交流件数(回数)	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	回
	式・定義	県が関与する北東アジア地域との交流事業における交流件数の合計	実績値	1.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	3,941	6,000
うち一般財源(千円)	1,191	3,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成27年は、島根県出身の島村抱月がウラジオストク市で初めて演劇公演を行ってから100年となる記念の年であり、演劇グループを同市に派遣し、公演を行った(来場者数200名余)。また、公演に併せ、市内で日本語を学んでいる児童を対象に、演劇グループのメンバーが講師となって日本文化のマスタークラスを開催し、日本文化を体験する機会を提供した(参加者数80名余)。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成27年度は、ウラジオストク市へ県内の演劇グループを派遣するとともに、現地の芸術大学で演劇を学ぶ学生との交流をはかった。また、同時期に開催された日露の演劇交流に関する「円卓会議」に、派遣した演劇グループの代表者が出席した。これらがきっかけとなり、平成28年度に島根県内で開催される演劇フェスティバルに、ウラジオストク市の演劇グループが参加する方向で調整中である。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
公演・交流活動がきっかけとなり、県民による自発的な国際交流活動が生まれ、県民の手により活動が継続していくことが望ましい。しかしながら、交流活動が県民間で大きな拡がりを見せるに至る事例は、散見されるものの必ずしも多くない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
異文化に対して興味・関心を抱いたとしても、一般県民の多くは実際に交流活動に携わるまでには時間を要する。
- ③原因を解消するための「課題」
県民の国際交流活動に対する関心を一層高めるためにも、長期継続的に多様な文化に接する機会を提供する必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

多様な文化に触れることで県民の国際感覚は養われ、また、住民主体の身近な交流・協力を通じて相互理解の深まりが期待される。長期継続的に事業を実施するためにも、地理的、歴史的つながりから関係を構築している姉妹・友好交流先との交流を今後も進めていく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)